

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2022.3 No.40

七大学卒業式・入学式日程

関西茶話会講演録

会員活動報告・会員著作物紹介・会員ギャラリー
七大学・同窓会情報・学士会・学士会館ニュース

学士会

正餐プラン

～シェフからの贈りもの～

期間 2022年3月1日(火)～4月30日(土)

2時間フリードリンク付きでお得なコース料理プランです。
安心して安全な宴会場の個室でご利用いただけます。

ご利用されたお客様に、お土産としてお一人様ワイン1本をご用意いたします。

●新型コロナウイルス感染症予防対策につきましては、政府や東京都さらに業界団体から提言するガイドラインを踏まえ、積極的に取り組んでおります。

西洋料理

お一人様 8,500円コース

- ・スモークダックのスライス 葱の千切り添え
- ・南瓜のポタージュ
- ・アイナメのロティ 野菜添え
- ・牛肉のバヴェステーキ ベアルネーズソース
- ・青リンゴのムース
- ・コーヒー

お一人様 10,000円コース

- ・真鯛のマリネ シードルソース
- ・野菜のスープ
- ・ラングスティンのポワレ 春菊のリゾットの上に
- ・牛フィレ肉のステーキ 赤ワインソース
- ・ブルーベリーのムース
- ・コーヒー

中国料理

お一人様 8,500円コース

- ・四種冷菜盛合せ
- ・いろいろキノコのとろみスープ
- ・海老のチリソース
- ・はちみつ黒酢豚
- ・麻婆豆腐
- ・鮭炒飯
- ・杏仁豆腐

お一人様 10,000円コース

- ・美味彩り冷菜
- ・蟹卵入りフカヒレスープ
- ・海老と旬野菜のあっさり炒め
- ・二種蒸し点心
- ・牛肉のやわらか煮 青菜添え
- ・鮭レタス炒飯
- ・本日のデザート

【フリードリンク内容】

スパークリングワイン(乾杯用) / ビール / ワイン(白・赤) / ソフトドリンク

※表示価格はすべて会場費・消費税・サービス料込みとなります。 ※会場の指定はできませんので、予めご了承ください。

※延長は30分につきお一人様1,000円頂戴致します。(状況により延長できない場合がございます。)

※ご利用は6名様より承ります。 ※出席人数でお申込みください。 ※開催日の2日前までにご人数の確定をお願い致します。

※食材の入荷状況等によりメニュー内容が変更になる場合がございます。

学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

ご予約・お問い合わせ

TEL 03-3292-5936

<https://www.gakushikaikan.co.jp/>



祝 七大学

令和3年度卒業式・令和4年度入学式

日程のご案内

今春七大学で開催される卒業式と入学式の日程と会場をご案内します。
ご家族・ご親戚・お知り合いで、今春七大学を卒業される方や入学される方が
いらっしゃいましたら、学士会をおすすめください。

令和3年度卒業式

大学	日程	会場
北海道大学	3月24日(木)	北海道大学 第二体育館
	3月25日(金)	フォーポイントバイシエラトン函館3階「カメラア」
東北大学	3月25日(金)	カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）
東京大学	大学院 3月24日(木)	安田講堂
	学部 3月25日(金)	
名古屋大学	3月25日(金)	豊田講堂
京都大学	3月24日(木)	京都市勧業館みやこめッセ
大阪大学	3月24日(木)	大阪城ホール
九州大学	3月23日(水)	椎木講堂

令和4年度入学式

大学	日程	会場
北海道大学	4月6日(水)	札幌コンベンションセンター
東北大学	4月6日(水)	カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）
東京大学	4月12日(火)	日本武道館
名古屋大学	4月5日(火)	豊田講堂
京都大学	4月7日(木)	京都市勧業館みやこめッセ
大阪大学	4月5日(火)	大阪城ホール
九州大学	4月5日(火)	椎木講堂

※2022年1月21日現在の予定です。

※新型コロナウイルス感染状況により、内容は変更となる可能性があります。最新の情報は
各大学HPを必ずご確認ください。

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

7 UNIV.

七大学令和3年度卒業式・ 令和4年度入学式日程のご案内

01

2022.3 No.40

7 LECTURE 第44回関西茶話会

「パンデミックと危機の時代の哲学 — 『分解の哲学』を中心に」

03

藤原 辰史（京都大学人文科学研究科准教授）

7 UNIV.

七大学情報

10

七大学生協書籍ランキング 40

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

17

7 MEMBERS

会員通信

22

会員の声・会員活動報告・会員著作物紹介

7 NEWS

学士会・学士会館だより 30

7 NEWS

Discover Gakushikaikan 38

7 STAFFs

編集委員コラム 42

JOIN US!

学士会の紹介 表4



表紙写真・大塚富則 会員（東大・法・昭48）

場所：名古屋農業センター

開催日 2021年10月9日(土)

会場 京都大学楽友会館

パンデミックと危機の時代の哲学 — 『分解の哲学』を中心に

ふじはら たつし
藤原 辰史

京都大学人文科学研究所准教授



● PROFILE ●

1976年生まれ。2002年京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程中途退学、同年京都大学人文科学研究所助手、東京大学大学院農学生命科学研究科講師を経て、2021年4月より現職。歴史研究者。食と農の現代史を研究している。

主な著作に『ナチスのキッチン』（共和国、河合隼雄学芸賞）、『分解の哲学』（青土社、サントリー学芸賞）、『縁食論』（ミシマ社）、『農の原理の史的研究』（創元社）など。

私は20世紀の食と農の歴史と思想を研究しています。今まで12冊の本を書いてきましたが、ナチズムの研究をしてきた時間が一番長く、ナチスに関連する本が多いです。

ドイツでは第1次世界大戦で76万人の餓死者が出ました。ナチスは「二度と飢餓の起こらない国作り」を公約にして選挙を戦い、1933年に政権につくと、農業と食に力を入れ始めました。

ただし、飢餓から守られたのは「アーリア人種」だけで、ユダヤ人、スラヴ人、身体障がい者、精神障が

いは除外されました。これがナチスの飢餓計画（フンガープラン）です。ナチスの犯罪の背景には、飢餓への不安があったのです。

学校で学ぶ現代史は強国の対立が中心ですが、私は「腹一杯食いたい」という庶民の立場から現代史を見直しました。それが私の一貫したテーマで、『カブラの冬——第一次世界大戦期ドイツの飢饉と民衆』を書き、日本の食糧問題にも注目して、『給食の歴史』を書きました。

『農の原理の史的研究——「農業栄えて農業亡ぶ」再考』でも、食糧

危機を防ごうとした農業経済学者たちの帝国主義について描きました。

一方、これまでの歴史研究の理論編として、この世界で起きていることを「分解」という概念を手掛かりに語ろうとしたのが、『分解の哲学——腐敗と発酵をめぐる思考』で、本日はそのお話をします。

私たちの社会では国力を「国民総

生産」といったり、「LGBTは生産性がない」と放言する政治家がいたり、さまざまなことを「生産」や「消費」という言葉で語っていますが、一方で、私たちは壊し、捨て、排泄し、死ねば肉体は腐敗します。そこで、廃棄されたものから社会を見つめ直したいと思いました。

0. コロナの「抜き打ちテスト」があらわにしたもの ~これまでの問題の露呈

京都大学大学院地球環境学堂准教授で、年に一度、京都の住宅街のゴミをすべて回収して調査されている浅利（美鈴）さんのお話を聞いたことがあります。驚くことに、食品ゴミには手付かずで、賞味期限前のものがとても多いそうです。実際、日本の食品ロス（廃棄）は570万トンで、世界の食糧援助量420万トンを上回ります。

日本はいつから食べ物を平気で捨てる国になったのでしょうか。日本では「大量生産→大量消費→大量廃棄」という社会システムが暴走しています。コロナはそんな日本の脆弱性を暴きました。

① 大規模自然破壊

（とそれに由来する気候変動）

ウイルスを媒介するのは、主にコウモリです。アフリカでは先進国の食を賄うため、コウモリの住む森林

を破壊し、農園を建設しました。その農園にコウモリが来て糞尿を垂らし、涎を付けたので、エボラ出血熱が流行したのです。

② 非正規雇用労働形態の脆弱さ

看護師やケースワーカーは平時から厳しい経済状況に置かれていましたが、コロナ禍でも危険に晒され、感染率が圧倒的に高くなりました。

③ 言葉の破壊

ブラジル大統領が「コロナは風邪」と豪語した結果、多くのブラジル人が亡くなりました。政治や人文を担う者にとって言葉は生命です。言葉の信頼回復が喫緊の課題です。

④ 人文学・文化の軽視

マスコミには疫学者と医者ばかりが登場しましたが、江戸時代以来、日本には疫病の歴史の蓄積がありません。それを生かさぬ手はありません。



⑤ 男性中心社会の暴力性

日本では平時から議員の女性蔑視発言が後を絶ちませんが、コロナ禍では女性の解雇と自殺が増えました。女性へのDVも多いのに、なぜ安易にステイホームを進めたのでしょうか。まず、女性に皺寄せが来る仕組みを根本から変えるべきです。

コロナで気付いた

食と農の根源的問題

コロナは私たちの食の営みの根源が何であるかを突きつけました。ここでは3点だけ取り上げたいと思います。

① 生態系と住民の同時的破壊

パームやし、アボカド、バナナ、大豆、コーヒーなどのプランテーション拡大の行き過ぎは、単に自然環境だけでなく、そこに住み、働く労働者たちにも大きな健康被害を与え

ます。日本が輸入するフィリピンのバナナ農園でも農薬が大量に使用されていますが、日本の人はそこに住む人々への関心がとても薄いです。

② 低賃金の外国人労働者なしには食が成り立たない現実への無自覚さ

日本の漁業と農業は外国人労働者によって維持されているため、コロナで彼らの入国が制限されると、苦境に陥りました。

ドイツでも東欧から大勢の農業労働者を受け入れていましたが、コロナ禍で国境を封鎖したため、収穫期に労働者がいなくなりました。メルケル首相は例外措置で農業労働者だけを受け入れました。

③ 食肉工場の現場

欧米では多くの食肉加工工場でクラスターが発生し、閉鎖されました。アメリカではトランプ大統領が操業継続を命じましたが、その際に問題

になったのは、工場労働者の多くが低賃金の移民労働者で、彼らの劣悪な職住環境が感染拡大につながったことです。

ロバーツ著『食の終焉——グローバル経済がもたらしたもうひとつの危機』が指摘したように、膨大な生水の使用、飼育牛のメタン大量放出といった環境問題に加えて、大規模畜産放の問題もあります。ケージ内にすし詰めにして飼育するので、鶏同士が突き合うのを防ぐために嘴を切断し、感染防止のためワクチン接種、抗生物質投与をしています。そ

れでも水鳥が鳥インフルエンザを運んでくれば、ケージ内で感染し、大量死を引き起こすだけでなく、人間に感染するウイルスに変異する可能性があります。

食肉業界の問題は、2001年にシュローサーが『ファストフードが世界を食いつくす』で告発しましたが、百年前にもシンクレアが小説『ザ・ジャングル』の中で、シカゴの食品加工工場の劣悪な労働環境と外国人労働者の悲惨な生活を告発しました。コロナ禍で同じ問題が露呈したのです。

1. 問題意識～現代の焦点としての廃棄物

「大量生産→大量消費→大量廃棄」の問題は、アパレル業界でも起きています。パリコレなどのショーやファッション雑誌が季節ごとに流行を煽り、新新品を売り出すので、先進

国では着られる服が大量に廃棄されています。こうした新品文化は過剰なアンチエイジングブーム、過剰な都市開発（スクラップ&ビルドの繰り返し）にも表れています。

2. 分解とは？

ここでの「分解」は生態学の用語から拝借しています。生態学は生産、消費、分解という三機能の循環を考えます。生物は食物網の中で「食べられ、分解され、他の生命体の構成要素になる」を繰り返していますが、人間はそれを忘れてしまったかのようです。

ベゴン・ハーバー・タウンゼント

共著『生態学』には、「分解とは、死んだ生物組織が徐々に崩壊すること。複雑でエネルギーに富んだ分子が二酸化炭素、水、無機栄養塩に分解されて終わる」とあります。

この時、分解の場所として特に重要なのが土壌と海です。しかし今や、海に大量のプラスチックが流れ込み、分解されないまま魚が食べ、その魚

を私たちが食べています。

土壌でも化学肥料の多投による劣化、汚染、流出が深刻で、2015年、国連が「国際土壌年」を設け、土壌資源の持続性向上を訴えました。

土壌が重要なのは、分解機能のためです。九馬一剛編『最新土壌学』には、「落葉、落枝、動物の排泄物は土壌で分解され、森の栄養になる。土壌が環境保全に果たす役割は大きい、これまでほとんど評価されてこなかった」とあります。

19世紀ドイツの教育学者フレーベルも分解の重要性を訴えました。彼は積み木を発明し、「万物は要素に分解される。要素を組み立て直すと、違うものができる」と子供たちに教えました。さらに彼は幼児の預かり場に過ぎなかった施設を、幼児が自然と触れ合う情操教育の場、幼稚園に改めました。

消費者も分解し、

分解者も生産している

生態学 (Ecology) がドイツで登場したのは20世紀初頭で、「生態系」(ecosystem) という概念が生まれたのも1935年と新しいため、生態学の説明には「消費」や「生産」といった経済概念が使われました。

そのため、これらの言葉と現実との間に齟齬が生まれました。生産、消費、分解は厳密に分担されているのではなく、どの生物も各役割を担



っているという生態学者もいます。例えば、動物は食べる時は消費者ですが、消化の過程で分解しています。微生物は発酵する時は分解者ですが、アルコール、エネルギー、糖、ガスという副産物を生産しています。

分解者としての人間

人間は1日に5千万の鱗片を地面に落としています。鱗片には数千万の微生物が付着しています。近年、腸内フローラが話題ですが、人体には腸内や皮膚などに合わせて100兆以上の常在菌が住んでいるのです。

アメリカの地質学者モントゴメリーとその妻ビクレーの共著『土と内臓——微生物が作る世界』によると、植物も人も作ったエネルギーの一部

を土や内臓の微生物に与え、微生物の働きによって免疫を高めています。

植物は光合成で作った糖の一部を根から出し、微生物に与えています。微生物が吸収・分解すると、植物は代謝物を根から吸収しています。微生物は植物の根を有害物質から守っています。人間も同じで、米、イモ類由来のでんぷんは消化されずに大腸に行き、腸内細菌の栄養となります。腸内細菌の代謝物は、大腸の栄養になります。

人間社会における分解

社会システムの中でも、廃棄されたものがリサイクルされてきました。人糞尿を堆肥にしていたのは、よく知られています。

出版が盛んだった江戸では、紙屑が大量に発生していました。屑拾いが拾って隅田川の紙漉き屋に持ち込むと、紙屑は水でふやかされ、砕かれ、トイレットペーパー（浅草紙）として再利用されました。

昔の世田谷は農村と都市の間にあつたため、双方から不用品が持ち込まれ、交換されていました。これが今も続く世田谷ボロ市です。

戦後になると、バタヤ集落が全国にできました。バタヤはぼろや金物などの廃品を回収して生活する人です。浅草のバタヤ街では、ポーランド人のゼノ修道士が戦災孤児や困窮者のコミュニティを作り、廃品回収

で生計を立てました。この話は「蟻の街のマリア」という名で映画化・舞台化されています。

リサイクルに携わる人々は差別の対象でしたが、彼らが社会を底辺で支えていました。コロナ禍でも感染リスクを下げるためにごみ収集が減ると、ごみ処理が滞りました。

屑拾いの文学

戦前、大阪城の隣りにアジア最大の軍需工場「大阪砲兵工廠」がありました。しかし、空襲で破壊され、戦後しばらく膨大な鉄屑が放置されたままでした。ところが高度成長期になると、在日コリアンや浮浪者などが徒党を組んで夜中に廃墟に侵入し、鉄屑を盗んで売り始めました。彼らが「アパッチ族」です。

これを小説にしたのが開高健の『日本三文オペラ』です。鉄屑泥棒たちが廃棄された牛ホルモンを洗面器に入れて七輪で焼き、唐辛子粉をかけて煩張る場面が印象的です。

小松左京も『日本アパッチ族』という小説を書きました。鉄屑泥棒たちが鉄屑を食べる「アパッチ族」に進化し、国家権力に反旗を翻して自衛隊と全面戦争するSF小説です。

他方で、在日コリアンの側から鉄屑泥棒の実態と日本国家の在日コリアンへの差別を克明に描いた梁石日の『夜を賭けて』も面白いです。

屑を大事にする文化はイタリアに

もありました。1926年、ドイツの哲学者レーテルは、ナポリ滞在中に「壊れたものの理念——ナポリの技

術について」というエッセーを書き、壊れた自動車を木片で器用に修理するナポリ人を描きました。

3. 分解の副産物としての芸術

20世紀前半に活躍したドイツの前衛芸術家シュヴィッターズはごみ屑をコラージュしました。「捨てられたものにこそ新しいものが宿る可能性がある」という彼の発言は、まさに分解の哲学です。

ピカソは廃棄自転車のハンドルとサドルで、「雄牛の頭」という作品

を作りました。彼は「稲妻の中で、ごみが私の中で一つになった」と語っています。

日本でも芸術家の淀川テクニクが、河川敷などに落ちているごみから、鶏などの美しいオブジェを作っていて、非常にインパクトがあります。

4. おわりに

「分解」から世界を見ると、生物学、医学、農学、芸術、教育学などを串刺しにした新しいものの見方が成り立ちそうです。

その文脈で、私は「屑を食う」という表現に注目しています。昔の絵(図)を見ると、屑拾いが2本の棒で屑を拾い、籠に入れています。これが箸を使って食べているように見えたので「屑を食う」と言われました。小松左京はこの言葉から鉄屑を食うパッチ族という発想に至りました。

実際に、生物世界では、生きものに食い散らかされ

たものが別の生きものに食べられることで、物質が循環しています。「食」を広く問い直すことで、社会の仕組みを考え直す見方が、コロナ禍の今、切実に求められているように思えます。



屑拾い『北為画柳樽』

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、ご案内のイベントも変更となる可能性があります。最新情報は、各 Web サイトからご確認ください（PC ご使用の方は、タイトル名等で検索ください）。

北海道大学

<https://www.hokudai.ac.jp/>

報 告

寶金清博総長が新渡戸カレッジで特別講演されました



2021年10月2日（土）に特別講演会が開催されました。今回の講演会は、新渡戸カレッジ基礎プログラム学部教育コースの必修科目である「新渡戸学（フェローゼミ）」に先立って、新渡戸カレッジ校長である寶金清博総長が「科学と生命倫理」と題して、高等教育推進機構大講堂において、対面にて講演されました。新渡戸カレッジ生を対象とした総長の講演会は、今回が初めてのことです。

脳神経外科学者、もやもや病治療の外科医、また元北海道大学病院長として、さまざまな経験を踏まえた上での講演は、刺激のかつ含蓄に富んだ内容で、学生からは、総長も感心するほど鋭い質問が次々と寄せられました。

「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム」が開催されました

2021年11月27日（土）、開催されました。基調講演は、2014年にノーベル賞を受賞した天野浩氏（名古屋大学教授）と前田理氏（北海道大学化学反応創成研究拠点（ICReDD）拠点長・教授）が行いました。天野教授からは、ICReDDの専任教授でもあるリスト・ベンジャミン先

生が2021年のノーベル化学賞を受賞したことに対する祝いの言葉もありました。

リスト・ベンジャミン専任教授のインタビュー映像が公開されました



2021年のノーベル化学賞を受賞されたリスト・ベンジャミン北海道大学専任教授のインタビュー映像がCoSTEP（北海道大学高等教育推進機構）公式YouTubeチャンネルで公開されています（日本語字幕と英語字幕をお選びいただけます）。インタビューは昨年12月10日にCoSTEPが単独実施したものです。受賞内容の背景以外にも、ご家族や少年時代のこと、ノーベル賞の本質に関するお考えなど、本映像以外ではなかなか聞くことができないことが語られています。そして最後にはリスト氏から日本の若者へのメッセージもあります。

北大テックガレージ支援「てれコチャ」がHL2021でtoio SDK for Unity賞を受賞されました



北大テックガレージが支援したプロジェクト「てれコチャ」が、ヒーローズ・リーグ2021にてtoio SDK for Unity賞 by toio™（トイオ）を受賞しました。

リモートでの打ち合わせやコミュニケ

ーションの機会が増えるなか、遠隔地のメンバーとその場で対面しているかのよ

うな臨場感を提供する技術が注目されており、今後の取り組みに注目です。

東 北 大 学

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/>

告 白

東北大学 MOOC 講座東北
大学サイエンスシリーズ
「放射線安全社会入門～リス
クの知見を暮らしに～」



期 間 ~2022年3月15日(火)

形 態 オンライン

※詳細はQRコードからご確認ください。

報 告

東北大学創立 115 周年記
念・総合大学 100 周年記
念事業特設サイトが開設さ
れました



東北大学は、2022年、創立115周年・総合大学100周年を迎えます。その節目を迎えるにあたり、東北大学創立115周年記念・総合大学100周年記念事業特設サイトを開設しました。本サイトでは、創立115周年・総合大学100周年記念事業やイベントなどのお知らせの他、同事業に関連するさまざまなコンテンツを随時発信してまいります。

駐日イタリア大使が東北大
学を訪問されました



2021年12月13日(月)、駐日イタリア大使館のジャンルイジ・ベネデッティ大使が来訪され、大野英男総長への表敬訪問が行われました。

大野総長は、歓迎の挨拶と大使就任へのお祝いとともに、東北大学の日本学国際共同大学院プログラムにおいてイタリアとの交流が活発に行われてきたことなどに触れ、更なる協力の発展に期待していると述べました。ベネデッティ大使は、日伊間の学術交流を更に促進するだけでなく、これに産業界も含めた協力関係を

築いていきたいと述べました。

大野総長との面談後には、大学に所属するイタリア人研究者との懇談、災害科学国際研究所への訪問、加齢医学研究所への訪問が行われました。

東北大学加齢医学研究所創
立 80 周年記念植樹が行わ
れました



2021年12月17日(金)、星陵キャンパス・スマート・エイジング棟国際会議室および構内にて、大野英男総長の祝辞の後、大野総長、川島所長、本橋ほずみ副所長による記念植樹が行われました。

令和 3 年度東北大学学生評
議員懇談会が開催されまし
た



1月18日(火)、オンラインで開催され、学生評議員と教育研究評議会評議員との意見交換が行われました。学生評議員制度は、学生の声を大学運営に反映するために今年度創設されたものです。

懇談会では、学生評議員から「進路や学びの多様化に向けた学部高年次・大学院における専門分野以外の授業履修」「留学生支援(キャリア支援、生活支援等)」「学生への経済支援」「学生の研究基盤(全学的な研究用ツールの導入等)の整備」等、大学の現状確認や制度の充実に関する意見が出されました。教育研究評議会評議員からは、各意見について、大学全体と各学部・研究科の取り組みの紹介や更なる制度・支援の充実に関する発言があり、また、大学からの情報発信方法について意見交換を行うなど、学生の意見を直接聞くことができる貴重な機会となりました。

告知

東京大学ニューヨークオフィス (UTokyoNY) イベント



東京大学が考える Urban Sciences とスマートシティの現在 (仮題)

期間 3月1日 (火) ~3月19日 (土)

場所 東京大学ニューヨークオフィスほか

Archival Digitalization, Conservation, and Accessibility for Schools of Architecture and Engineering

工学、建築学におけるアーカイブ資料のデジタル化、保存、公開活用について (仮題)

開催日 3月4日 (金) ~3月5日 (土)

場所 東京大学ニューヨークオフィスほか

※詳細はQRコードからご確認ください。

「知脳を〇〇する一脳をみて、脳をつくる研究者たち」ビジョナリーラボ第2期



期間 ~2022年3月31日 (木)

場所 日本科学未来館3階常設展示ゾーン「未来をつくる」

※詳細はQRコードからご確認ください。

特別公開『音のかたち——東京大学蓄音機コレクション』



期間 ~4月10日 (日)

場所 インターメディアテク

入場料 無料

※詳細はQRコードからご確認ください。

東京カレッジのご案内



東京大学に新しく設立された「東京カレッジ」。世界の第一線で活躍する研究者や知識人を招き、市民の皆さんと一緒に未来社会のさまざまな側面について考える場を作ります。

QRコードから開催予定・公開済みのイベントをご覧ください。

報告

バリアフリー支援室が内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞されました



2021年12月23日 (木)、令和3年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰において、「内閣府特命担当大臣表彰奨励賞」を受賞しました。

「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」は、2001年11月6日開催の「バリアフリーに関する関係閣僚会議」において創設、2002年から実施しており、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取り組みを普及させることを目的としています。今回の受賞は、バリアフリー支援室の取り組みや活動実績が評価されたものです。

知ってる?!



日本に野球が伝わってから 150 年！

今年は、アメリカ人教師ホーレス・ウィルソン氏が東京大学の前身である開成学校にて、始めて野球を教えてから 150 年。

その開成学校は、現在の学生会館敷地にありました。学生会館は、「日本野球発祥の地」であり、「東京大学発祥の地」でもあるのです。

告知

名古屋大学宇宙地球環境研究所製作 知の拠点「すぐわかアカデミア。」「すぐにわかるタイムトラベラーたちが紐解く太陽活動」



共同利用・共同研究拠点が担っている学術研究の最先端の様子を広く一般の方々や学生の方々にお届けする動画コンテンツ「知の拠点【すぐわかアカデミア。】」を公開中です。過去の太陽活動に2人の若手研究者が「タイムトラベラー」として迫ります。

第21回名古屋大学遺伝子実験施設公開セミナー「光合成を利用する動物、その巧みな生き方」～ミドリゾウリムシ・サンゴ・ウミウシ～



日時 3月8日(火) 13:25～16:30
形態 オンライン

※詳細はQRコードからご確認ください。

第23回グローバル人材のための国際情勢講座「G2時代の到来? バックス・アメリカーナかバックス・シニカか。コロナ禍の米中関係を読み解く」



日時 3月8日(火) 14:00～16:00
形態 オンライン

※詳細はQRコードからご確認ください。

名古屋大学高等教育研究センター第105回客員教授セミナー「内部質保証のアクターをめぐる日英比較—学生の役割に着目して—」



日時 3月17日(木) 14:00～16:00
形態 オンライン

※詳細はQRコードからご確認ください。

名古屋大学博物館第28回特別展「世界の発酵食をフィールドワークする」



日時 3月22日(火)～9月24日(土)
10:00～16:00(入館 15:30)

※日・月休館

場所 名古屋大学博物館3階展示室

※詳細はQRコードからご確認ください。

名古屋大学博物館 サイエンス&アートワークショップ「鉱物の粉末で絵を描いてみよう!」



日時 4月23日(土) 10:00～12:00

場所 名古屋大学博物館実験室

参加費 無料

※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

JAXA「はやぶさ2プロジェクト」から感謝状を授与されました



この度、宇宙航空研究開発機構(JAXA)「はやぶさ2プロジェクト」から感謝状を授与されました。名古屋大学では、これまでJAXAとの連携協力協定などを通じて、日本の宇宙科学探査の推進に大きな寄与をしており、はやぶさ2プロジェクトにも教員や学生が参加して、さまざまな重要な貢献をしてきました。今回の感謝状は、はやぶさ2プロジェクトサイエンティストである本学大学院環境学研究科渡邊誠一郎教授をはじめとした名古屋大学の貢献に対し、授与されました。

告知

第17回京都大学附置研究所・センターシンポジウム 京都大学松山講演会 京都からの挑戦—地球社会の調和ある共存に向けて—「パラダイムシフト—新しい世界を創る京大」



開催日 3月5日(土)
場所 松山市民会館大ホール
定員 500名(先着順)

※詳細はQRコードからご確認ください。

第117回京都大学丸の内セミナー「仏教文化の東伝を科学する」



日時 3月11日(金) 18:00~19:30
場所 京都大学東京オフィス
演題 「仏教文化の東伝を科学する」
講師 岡村秀典氏(京都大学人文科学研究所教授)

※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

橋渡し研究支援機関に認定されました



文部科学省では、大学等の優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として実用化する橋渡し研究を支援す

るため、橋渡し研究支援機能のうち、一定の要件を満たす機関を「橋渡し研究支援機関」として認定する制度を2021年3月に設け、この度、京都大学が「橋渡し研究支援機関」として認定されました。

京都大学総長特別栄誉賞授賞式が開催されました



「東京オリンピック2020」男子20km競歩で、銅メダルを獲得された山西利和氏の活躍を称えるべく、栄えある第一号受賞者として選出されました。

「京都大学総長特別栄誉賞」は、各種スポーツ等で国際的に特に優秀な成績を取めた卒業生等を表彰することにより、京都大学の一層の発展を期するため2021年11月に創設されました。

小野薬品工業(株)からの寄付による「小野薬品・本庶記念研究基金」が設立されました



小野薬品工業(株)からの寄付によって、「小野薬品・本庶記念研究基金」が設立されました。当該基金は、京都大学における独創的な基礎研究と小野薬品工業(株)による粘り強い開発と事業化努力により、画期的ながん治療薬の実現に至ったという、産学連携活動の目覚ましい成果に基づくものです。

告知

2021年度サイエンスカフェ@待兼山



日時 3月12日(土) 14:00~15:30
テーマ 「光を感じる仕組み—脊椎動物の視細胞のはたらき」
講師 橋木修志氏(生命機能研究科・准教授)

形態 オンライン (Zoom)
日時 3月19日(土) 14:00~15:30
テーマ 機能性食品、生薬、漢方薬の研究データの見方
講師 原田和生氏(医学系研究科兼薬学研究科・特任准教授(常勤))
形態 オンライン (Zoom)

大阪大学・九州大学巡回展 「緒方洪庵と武谷棕亭」電子 展示公開



武谷棕亭生誕 200 年記念大阪大学・九州大学巡回展「緒方洪庵と武谷棕亭」が、4 月に九州会場で開催されます。巡回展に先立ち、電子展示が公開されています。詳細は QR コードからご確認ください。

報 告

世界的建築家・安藤忠雄氏 による感染症研究棟を大阪 大学に！



大阪大学と日本財団は、両者が進める「日本財団・大阪大学感染症対策プロジェクト」において、「感染症」に関する研究を推し進めていくため重要な役割を果たす「場」としての研究棟を、世界的建築家・安藤忠雄氏によるコンセプトデザインをもとにして建築することとなり、2021 年 12 月 16 日（木）に大阪大学にて記者発表会が開かれました。

会見では、安藤氏より、「感染症の問題は、世界を巻き込む人類としての問題であると同時に、地域格差や差別など、一人一人の心の問題でもある。それらを多角的に解決する『宇宙船地球号』としての役割を意識して、デザインに反映した」との説明がありました。

感染症研究棟の規模は、9 階建て（高さ 45 m）、延べ床面積 16,000 m² であり、2025 年 2 月竣工予定です。

令和 3 年度大阪大学賞表彰 式が開催されました



2021 年 11 月 25 日（木）、大阪大学銀杏会館（吹田キャンパス）にて開催されました。

式では、西尾総長から各受賞者に対し、記念の盾が授与された後、受賞者の功績を称えるとともに、各受賞者の更なる活躍を期待するとの激励がありました。

阪大生が全国障害者技能競 技大会（アビリンピック） で金賞を獲得しました



第 41 回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）のワード・プロセッサ部門で、人間科学部 3 年生の大川公佳さんが金賞を獲得しました。

大川さんは、2021 年 7 月 3 日（土）開催のアビリンピックおおさか 2021（地方アビリンピック）で金賞を獲得し、全国大会への切符を獲得しました。そして、各地方大会を勝ち抜いた 39 名が出場した 12 月 18 日（土）開催の第 41 回全国アビリンピックでも、第 1 位となる金賞を獲得しました。

大阪大学女性大学院生交流 会優秀発表表彰式が行わ れました



2021 年 12 月 20 日（月）、総長室にて行われ、西尾総長から受賞者の女性大学院生に、表彰状と副賞の目録が手渡された後、本賞の実施にご尽力をいただいた池田雅夫大阪大学名誉教授・元副学長より、受賞者に向けて、お祝いと今後の期待の言葉が述べられました。

大阪大学では、女性大学院生の育成、研究力向上および博士後期課程への進学後押しを目的に、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業の共同実施機関・協力機関の企業や研究機関との連携により、理系女性大学院生と企業等との交流会を開催し、優れた研究発表を行った女性大学院生に、これからの研究活動や研究者を志すことの励みになるよう「大阪大学女性大学院生交流会優秀発表賞」を授与しています。

■ 告 知

九大フィル卒業記念演奏会 2022



日 時 3月13日(日) 14:00～
場 所 福岡市東市民センターなみきホール

入場料 全席自由 1,000円

指 揮 鈴木優人氏

曲 目 シベリウス／交響曲第2番
プーランク／フランス組曲
ラフマニノフ／交響曲第2番

※詳細はQRコードからご確認ください。

共創学部を体験しよう！ 2022



【東京会場】

日 時 3月20日(日) 13:00～16:00
場 所 TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンターホール 316 またはオンライン (Zoom)

【大阪会場】

日 時 3月21日(月・祝) 13:00～16:00
場 所 TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンターホール 3 またはオンライン (Zoom)

※詳細はQRコードからご確認ください。

■ 報 告

九州地区再生可能エネルギー 一連携委員会が発足されま した



九州大学をはじめとする九州地区の国立大学11大学は、国が掲げる2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、2021年9月、「九州地区再生可能エネルギー連携委員会」を発足させました。

各大学の再生可能エネルギーに関する特色ある研究教育について、九州地区全体での情報発信を行うとともに、産業界、自治体と連携して九州における脱炭素化

の推進および再生可能エネルギーの社会展開を進めていきます。

岩元真明助教がウッドデザイン賞2021優秀賞・林野庁長官賞を受賞されました



岩元真明助教が設計に携わった、海の家「TRIAXIS 須磨海岸」がウッドデザイン賞2021において優秀賞・林野庁長官賞を受賞しました。

日本・スウェーデン学術機関合同記念レクチャー＆合同記念レセプションが開催されました



2021年10月29日(金)と11月2日(火)に開催されました。10月29日の合同記念レクチャーは、オンラインで開催され、150名の参加がありました。また、11月2日の合同記念レセプションは、駐スウェーデン日本国大使公邸にて開催され、科学技術・学術分野の政府関係者や大学・学会関係者等の参加がありました。

(株)一蘭からカップ麺が寄贈されました



豚骨ラーメン店を展開する(株)一蘭からカップ麺を寄贈いただき、工学部では2021年12月17日(金)に園田工学部長から学生へ配布を行いました。

コロナ禍でアルバイトが出来ないなど影響を受けている学生からは、「一蘭ファンなのでとても嬉しいです。」「食べるのが楽しみで仕方ありません。」「一蘭、大好きです。」と喜びの声が多く寄せられました。

同窓会案内・開催報告

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、ご案内のイベントも変更となる可能性があります。最新情報は、各 Web サイトからご確認ください（PC ご使用の方はタイトル名等で検索ください）。

七大学同窓会共通

報告

笑う門には福来る —— 巣鴨会の活動紹介（11）

巣鴨会（旧七帝大系若手交流会）は2021年11月から12月にかけて、秋を愛でる「紅葉観賞会」、日本の伝統芸能・講談と落語に身近に接する「多楽会」、オンラインクリスマス会「Sugamo Online Vol. 25」を開催しました。それぞれにそれぞれの形で笑顔が広がった3つの会を振り返ります。

1. 「紅葉観賞会」について

2021年11月27日（土）、東京・小石川後楽園で「紅葉観賞会」を開催しました。絶好の晴天と色鮮やかな紅葉に恵まれ、参加者は大盛り上がり。コーヒーやケーキも差し入れられ、優雅な午後の時間を楽しんで



見頃を迎えた紅葉

いました。夕方には「東京ドームシティウィンターイルミネーション」を鑑賞。秋から冬に移ろいゆく景色を背景に歓談しました。

2. 「多楽会—講談と落語の夕べ—」について

12月12日（日）、池袋の自由学園明日館（みょうにちかん）で「多楽会」を開催しました。春風亭一花さん（落語）⇒金原亭馬久さん（落語）⇒田辺いちかさん（講談）の順に演目が披露され、満員となった会場は笑いや感動の涙で包まれました。出演者を交えた質疑応答も活発に行われ、懇親会では落語家・講談師の日常にみな興味津々。尽きることなく話題が展開されていきました。

〔ご出演者のスケジュール〕

馬久さん：

<https://bakyu.hatenablog.com/>



質疑応答の一コマ

（左から馬久さん、いちかさん、一花さん）

一花さん：

<http://s-ichihana.com/>



いちかさん：

https://twitter.com/t_ichika_info



3. 幹事より

今回の「多楽会」にて司会を務めました飯田哲也と申します。当日は師走の寒空の中、多くの方に御来場いただきまして2021年を締めくくるに相応しい会になり嬉しく思います。落語の演目は「子ほめ」「そば清」、講談では「赤穂義士伝－忠僕元助」が披露



「多楽会」幹事団（左から2番目が飯田さん）

され、笑いや感動で寒さも忘れるほどの楽しい時間でした。「多楽会」は運営側の幹事団をはじめ、落語・講談を披露していただいた唄家の皆様、ご来場いただいた皆様で紡ぎあげた心に残る思い出となりました。

（飯田哲也さん・國學院大學・神道文化学部在学中）

4. 「Sugamo Online Vol. 25」について

12月25日（土）の「Sugamo Online Vol. 25」ではクリスマスにちなんだ動画を合間合間に鑑賞したほか、最後に参加者が一人ずつ1年の振り返りと来年の抱負を披露。コロナ禍に振り回されながらも無事に1年を過ごしたことの感謝の気持ちを胸に、2021年を締めくくりました。

5. お問い合わせ・入会希望について

巢鴨会では、2022年3月のリアルイベントとして12日（土）に埼玉スタジアム2002見学ツアーを、下旬にお花見を行い、オンラインイベントも随時開催していきます。お問い合わせや入会希望は久保（kubo@wind.ocn.ne.jp）までお願いいたします。

（久保真一 会員 九大・法・平15卒）

北海道大学同窓会

<https://www.alumni-hokudai.jp/>

報告

北海道恵迪寮同窓会の「定時総会・新年寮歌始めの会」延期のお知らせ



例年1月末に行っている北海道恵迪寮同窓会の「定時総会・新年寮歌始めの会」ですが、4月以降に延期することとしました。実施時期や会場の詳細は現在のところ未定です。新型コロナウイルスの感染状況やそれにかかわる社会状況を見極めながら決めたいと考えています。

札幌農学校同窓会「さっぽろ農学校サポーター」が始動しました



「さっぽろ農学校サポーター」の活動が昨

年11月、本格的に始まりました。このサポーター事業は、札幌農学校同窓会のコロナ禍関連農学生緊急支援プロジェクトのバイト創出事業の一つで、現役の農学生（農学部学生と農学院院生）をバイト採用し、メディア拡充をはじめとするさまざまな同窓会の仕事をサポートしてもらうという事業です。

昨年9月にサポーターが公募され、応募した16名全員が採用されました。その後、10月の就任式・ガイダンスを経て、希望に基づいて分担やシフトを決め、活動を始めています。活動の詳細はQRコードからご確認ください。

告知

東北大学基金「サステナブル募金」



読み終えた本・DVD、使わなくなったものをご提供いただき、その査定換金額を東北大学に寄附する「サステナブル基金」の取り組みを行っています。寄附金は東北大学の教育研究環境および学生の就学環境の整備・充実等に役立てられます。

運用には、嵯峨野(株)が運営する「古本募金ししゃぼん」およびブックオフコーポレーション(株)が運営する買取寄附サービス「キモチと。」を活用しています。

報告

東北大学学生会懇談会が開催されました



2021年12月18日(土)、オンラインにて開催され、80名を超える参加者がありました。

本イベントは、学生会所属の各団体の活動状況や今後の目標・課題など、課外活動を通じて学生たちの「今」を伝え、OB・OGの皆様からのエールを学生にお届けすることを目的として初めて開催されました。当日は、前半部分で大野英男総長や滝澤博胤理事・副学長、東北大学OBである末光真希氏(宮城学院女子大学学長/元文化部長/男声合唱団OB)、阿部博之氏(第18代総長/元体育部長/漕艇部OB)からのご挨拶があり、最後には、応援団の檄とエールが披露されました。

告知

留学生と交流する会



開催日 3月13日(日)

場所 佐原・鹿島神宮・香取神宮訪問
(バス旅行)

※詳細はQRコードからご確認ください。

第27回東京银杏会トップフォーラム



日時 3月19日(土) 13:00~16:30

場所 学生会館320号室

演題 「脱炭素社会が導く新しい豊かさの創造」

講師 武内和彦氏(公益財団法人地球環境戦略研究機関理事)

※詳細はQRコードからご確認ください。

第91回東京银杏会坐禅の会



日時 4月26日(火) 18:30~

場所 全生庵(台東区谷中5-4-7)

※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

鎌倉淡青会三金会がハイブリッドで開催されました



新型コロナ蔓延防止のため長らくZoomでのオンライン開催としておりましたが、感染者数の減少を受けて、鎌倉山下飯店でのリアル会とオンライン会議を合わせて行うハイブリッド形式で開催されました。ファイルの画面共有に問題があり、リモート参加の方々にはご迷惑をおかけしましたが、最後の方にはそれも解決し、なんとか終わることができました。第6波の状況にもよりますが、さらに工夫を重ね、今後はこの形式で開催される予定です。

名古屋大学同窓会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

告知

第14回東山会関東支部総会



日時 2022年5月21日(土) 13:00~

場所 学生会館

※詳細はQRコードからご確認ください。

名古屋大学キタン会会員限定 100周年記念式典の見逃し 配信中



キタン会100周年記念式典の見逃し配信を視聴できます。ご希望の方は、QRコードからお申し込みください。

京都大学同窓会

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

報告

第16回京都大学ホームカミング デイが開催されました



2021年11月6日(土)から11月30日(火)まで、オンラインにて開催され、国内47全都道府県、海外34か国から、同窓生(卒業生、修了生、元教職員)、教職員、学生、一般の方など5,231名の視聴がありました。

第20回京都大学同窓会若手 会年次総会・講演会が開催 されました



2021年11月21日(日)に学生会館で開催され、オンライン参加者を含め、合計28名の参加がありました。

近い世代である卒業生による刺激的な経験談に、参加者からは質問が相次ぎ、その後のグループディスカッションにおいても、年齢や学部の垣根を越えた活発な議論が交わされ、会員相互の交流が深まる会となりました。

京都大学土木会「2021 椿の 会 学生・OG オンライン交流 会」が開催されました



2021年12月11日(土)、オンラインにて開催されました。これまで京都で3回開催した現役学生向けのキャリア支援交流会と、2019年に初めて東京で開催したOG交流会を統合して開催されたもので、学生5名と、国内外の卒業生15名およびその子ども3名の参加がありました。

大阪大学同窓会

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/alumni/AAF_OU/top

告知

青雲会「ゴルフ同好会」再開 のお知らせ



日時 4月2日(土) 9:00~

場所 センチュリー三木ゴルフ倶楽部

参加費 3,000円(予定)

プレイ費 20,500円(キャディ付・税込、
昼食は別途)

※詳細はQRコードからご確認ください。

泰山会 50周年記念事業ご支 援のお願い



泰山会50周年記念事業実施にあたりまして、皆様からのご寄付のご協力をお願いしております。寄付金の払込み方法等詳細につきましては、レーザー科学研究所「『新たな50年』キックオフ事業」特設サイト(<https://www.ile.osaka-u.ac.jp/kikin/>)をご覧ください。

大阪大学レーザー科学研究所 泰山会 50 周年記念シンポジウム



開催日 5月2日(月)

場所 未定

※詳細は QR コードからご確認ください。

報告

大阪大学北米同窓会 LA 地区 同窓会が開催されました



2021年11月7日(日)、大阪外国語大学の創立100周年を祝して開催されました。遠方からの参加もありました。

九州大学同窓会

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/graduate/>

告知

九州大学学生後援会卒業ガウン貸し出しサービス



九州大学学生後援会では、3月頃と9月頃の2回、学位記授与式向けに卒業ガウンの貸し出しサービスを行っています。

予約受付期間 3月11日(金) ※非会員は、
3月4日(金)～予約受付開始

貸出料 会員 1,000円 / 非会員 3,000円

問合せ 九州大学学生後援会事務局

gaggkouenkai@jimu.kyushu-u.ac.jp

※詳細は QR コードからご確認ください。

【期間限定公開】第1回九州 大学基金セミナー



配信期間 2021年12月～半年程度

テーマ 「相続／遺贈セミナー ～円滑な相続に向けて～」

※詳細は QR コードからご確認ください。

在京親和会総会・講演会



日時 4月8日(金) 17:30～総会、
18:00～記念講演、19:00～懇親会

場所 学士会館

演題 「ビヨンドゼロ社会を目指したネガティブエミッションテクノロジー技術の最先端」

講師 藤川茂紀氏(九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 主幹教授)

※詳細は QR コードからご確認ください。

報告

「九州大学理学部同窓会第6 回学業優秀者表彰」について



理学部同窓会では毎年3年次までの成績上位者に対し「理学部同窓会学業優秀者授賞式」を開催してまいりました。今まで熱心に勉学に励んでこられた諸君の表彰式と食事会を予定しておりましたが、今回も開催を断念し、学業優秀者の皆さんには賞状と副賞のボールペン(ネーム入りケース付き)を同窓会事務局より個別にお届けする予定です。

九州大学学生後援会文化祭 2021 “Online Symphony” が開催されました



2021年10月30日(土)、オンラインライブにて開催されました。

第40回法学部東京同窓会総 会・講演会が開催されました



2021年11月17日(水)、学士会館にて開催され、2年振りの臨場開催に40名近くの参加がありました。総会後には、場所を移動して、新入会員の歓迎会も行われました。

令和3年度経済学部同窓会福 岡支部の忘年会が開催されま した



2021年12月14日(火)、八仙閣にて、人数を制限し感染対策を徹底した上で開催されました。

会員の声

「川柳」に挑戦・ドタバタ顛末記

人生では時として転機が訪れる。43歳の時、仕事中心の生活を送っていた私は、定年まで17年と意識した際、このまま無趣味でいいのかと、ふと自問自答し、定年後も継続できる生活の楽しみを模索した。そんな中、地元新聞の読者のコーナーで、投稿者の文章がイキイキと紙面を躍動している様子を目の当たりにした。これだと思い、自分も投稿しようと決めた。以後、48歳で、投稿文が初めて紙面に掲載され、自分の文章が新聞の活字になるという喜びを知った。その後、定年後の現在まで、投稿の趣味は続いている。

2021年1月、上記コーナーに、同じ新聞の川柳への投句に励んでいる姿が実にイキイキと描写された投稿があった。私は大いに触発され、川柳のコーナーへの挑戦意欲をかき立てられた。

その勢いのまま、半年間、20回に亘り計60句ほど投句したが不採用で、正直、心が折れそうになった。それでも思い直し、あと1回投句しボツな

ら暫く休もうと、ダメもとでアタックした結果、その年の8月、“初スマホ大人のオモチャと子が笑う”という句で“初入選”した。ガラケーからスマホに変えて悪戦苦闘している様子に、長女が反応した有様をそのまま表現した。それまでは、時事問題や日常生活への想いを自分の言葉で推敲に推敲を重ね、絞り出した句だった。掲載された句とそれまでの句との作成過程のあまりの違いに、“目から鱗”の感があった。それから、川柳にますます興味を感じ、投句を継続しようと決意を新たにしている。

(佐藤健二 会員 東北大・経・昭55)

2021. 8. 22 河北
河北川柳 零石 隆子 選

<p>初スマホ大人のオモチャと子が笑う 仙台・泉 佐藤 健二 読み飛ばし車と同じ事故の元 大崎 空舟 幸夫 見る側も笑顔綻ぶスケボ―女子 仙台・青葉 須藤 由成 2回目を終えたけれどまだ不安 仙台・泉 石垣 平内 熱中症どちらが怖い電気料 仙台・泉 菅原 博 古関メロディ五輪に続き甲子園 多賀城 渋谷 史恵 銀河から賢治が歌う閉会式 仙台・宮城野 柳澤 陽</p>	<p>この夏は五輪・コロナのせめぎ合い 富谷 植木よし子 金メダル汚す行為の非常識 石巻 飯田 駄骨 ◇佳作 大崎 加藤 眞弘 （評）開催に賛否両論の五輪。無観客ながらテレビ画面を通して応援したが、リアルな感動はいまひとつかも。</p>
---	--

◇川柳投稿規定
はがきに3句以内。住所、氏名（柳号も可）、電話番号を明記。他紙（誌）との二重投稿、盗作はお断りします。〒980-0866 〇河北新報社生活文化部「川柳」係へ。

高齢者マーク

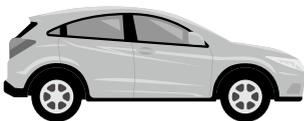
うれしかった。最近、クルマの運転免許が更新できたからである。後期高齢者となってから2度目の更新。はじめに「認知症テスト」、これに合格したら「高齢者講習」（実車による実技テストを含む）、最後に「視力検査」の〈計〉3ステップを経て新しい「運転免許証」を手にした。

マスコミで高齢者による自動車事故が報道されるたび、いつか自分にも免許証の返納の時期がくるだろうと思いつつながら、これからも無事故、無違反で過ごしたい。新しい免許証を受け取りに出かけた地元の免許センターで、ふと「高齢者マーク」（四つ葉マーク）のポスターに目がとまった。そうだ、今回の更新記念にこれからはこのマークを車に貼って運転してみよう、と思いついた。

しかし思い切って買った「高齢者マーク」の「注意事項」として、クルマの塗装面を痛めないために、車から離れるときは必ずとりはずすように、と書かれている。車利用のたびに着脱とは面倒なことだな、と思いつつながら、気をとりなおして、逆に毎回運転するごとにこの磁気型マーク2枚を貼り付けるたびに「新人ドライバー」の気持ちで安全運転してみようと思うこととした。家から出発するときは、忘れずにこのマークを装着し、外出から家にもどったら、これをとりはずし家の中に収納する。

これまで30年間の運転で慣れっこになっていたが、さあこれからは、もう一度「新人ドライバー」に戻ったつもりで安全運転してみよう！ その時以来、車で外出する際、車の前後に貼り付けた2枚の「高齢者マーク」にコツン、コツンと拳（こぶし）で軽く打ち「今日も、安全運転だよ！」と自分に言い聞かせながら出発している。

（塚本烈史 会員 名大・農・昭39）



会員活動報告

「3年間の代議員活動の報告」

「学士会の新しい価値作りに挑む」をテーマに2019年4月から代議員として活動をさせていただきました。今一番感じていることは、「学士会には挑戦できる場所がある。一緒に挑戦してくれる仲間がいる。応援してくれる仲間がいる。」ということです。

私の代議員活動はNoMaps3部作から始まりました。北大の大先輩から、「北海道のNoMapsを東京でも盛り上げてほしい」というミッションをいただき、私が運営委員を務める学士会YELLの協力を得て、2019年4月と7月にミニプレゼン会特別会を、2020年2月に「NoMaps×ジンパ×学士会YELL」を開催しました。この活動は北大東京同窓会にも波及し、多くの新しい繋がりが生まれました。そして、2021年10月には学士会YELLがNoMaps2021に出展することに繋がりました。

学士会の更なる魅力づくりとして、「学士会は世界中のどこでも学士会員の挑戦を実現出来る」ことを体現するために、2019年9月にタイのバンコクでYELL's cafe in Thailandを開催しました。今では当たり前となりましたが、Zoomを利用してバンコク、東京、名古屋の三元中継を行いました。また、開催を実現するために、タイ在住の学士会YELLのメンバーや、会場となったチュラロンコン大学に事務所をもつ東北大学の職員の方にもご協力をいただきました。

2019年9月の北大ホームカミングデーへの参加では、学士会の学生会員や現役北大生、北海道大学校友会エルム事務局の皆様と交流をさせていただき、学士会の若手会員活動をアピールさせていただく機会となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降はオンラインでの交流に主軸を移しました。七大同窓生が運営する組織を中心に多くのオンラインイベントに参加し、繋がりを広げると共に学士会の若手会員活動を知っていただきました。また、『NU7』には8つの記事を掲載させていただき、自身の活動報告や学士会の魅力を発信しています。

2021年1月からは会員支援課にお声がけいただき、世代間交流を目的の一つとして学士会オンライン企画に参加しています。同年8月からは学士会Webサロンの代表として、多くの素晴らしい仲間と共に会員主体の新しい活動に挑戦しています。

2022年1月からは広報渉外課のご協力を得て、『NU7』で「Discover Gaku-shikaikan」の連載を始めさせていただきました。学士会や学士会館の魅力を自分なりに探り、多くの人に伝え、皆さんと学士会館を再び繋ぎきっかけにしたいという思いで企画いたしました。

また、多くの方に若手代議員を知っていただきたいと思い、代議員総会や学士会主催の午餐会、夕食会へも積極的に参加しています。今では沢山の方と顔馴染みになりました。

最後に、22名の推薦人、ずっと応援してくれる仲間、学士会事務局の皆様、理事、そして、多くの活動を支えてくれている村松会員支援課長、学士会での活動をご理解くださっている小堀事務局長に心から感謝いたします。この4月からも代議員として活動をさせていただきたいと思っています。学士会の良さがここにあります。

(谷藤公貴 会員・学士会YELL 運営委員 北大・看護・平23)

「若手代議員／学士会 YELL として活動して」

代議員／学士会 YELL の小原です。3年間、自らを平成卒の「若手代議員」と称して活動してまいりました。代議員の先輩の皆さまと接点を持ち、ともに活動できたこと、若手代議員としての活動の場を広げることができたことに心から感謝申し上げます。令和4年4月以降も代議員としての活動は続投する所存ですが、これまでの私の活動を紹介したいと思います。

■海外での茶話会開催

私は代議員拝命前から YELL として活動していることもあり、代議員／YELL それぞれ私にとっては切っても切れない関係です。その一例として YELL が開催してきた若手茶話会があります。若手会員向けにカタリバ、マナビバを提供する企画ですが、代議員拝命後、東北大学にも協力いただき、茶話会の海外開催@タイを実現できました。海外開催は YELL 発当初夢に近いような目標でしたが、若手代議員、YELL の行動力、実現力に感動したことはこれからも忘れることはできません。

■学士会コンペ審査員

学士会との接点が増え、学士会向けに学生会員が提案を行うコンペの審査員に任命いただきました。いずれの提案も、学士会の有する課題を何とかしようとの熱い想いが伝わるものばかりで、将来のリーダーたる学生会員たちの頼もしさを感じることができる、実り多き会でした。

■外部団体との連携促進

外部団体との連携も進みました。例えば組織の代表を務められる方を中心としたイベントを共同開催し、私がパネリストとして登壇しました。これからの働き方や各々が持つ価値観についてディスカッションを行うことで、様々な価値観や使命感を持った皆さまとの交流を経て、私自身も新鮮な刺激を受けることができましたし、この経験を基にして、学士会では若手向けに新たなイベントを企画、実施するに至っています。

■NoMaps2021 への出展

令和3年には、NPO 法人全国異業種グループネットワークフォーラム INF と連携し、未来のビジネスや社会について発信する北海道のイベント NoMaps への出展を果たしました。漢文の概念「楽」、「道」、「利」を学びながらのワークショップ形式で、特に「楽」にフォーカスし、「ツナガル楽しい」、「ミナノタノシイ」をまとめました。あえて「楽」にフォーカスすることで、参加者は、新しく始めたい「楽」を発見し、語り合うことができました。

■DX 戦略推進部会検討メンバー

現在、学士会の DX 化を検討する「DX 戦略推進部会」の検討メンバーを務めています。オンラインツールが浸透する中、時代に合った価値を今後も会員の皆さまに提供していくため、会員向けの DX について真剣に議論しています。また、その中で SNS を活用して学士会の価値を発信する場として「会員に聞いてみた」を始動しました。第1走者として私がインタビューを3回にわたり受け、SNS 上に掲載されています。

若手代議員としての活動はまだ産声を上げたばかりです。様々な世代の様々な経験や価値観を有する会員の皆さまの声を聞き、ニーズを満たすべく、今後も私は歩みを進めていく所存です。

(小原太 会員・学士会 YELL 運営委員 東大・工修・工・平 16)

若手代議員活動フォトギャラリー

谷藤・小原・石川の3人は、平成最後の31年より令和4年3月まで、若手代議員と称して代議員活動をしてきました。活動の様子を知っていただければと、『NU7』の誌面をお借りし、写真にまとめました。

なお、私たちは、令和4年4月以降も若手代議員として続投したいと思います。今後ともよろしくお祈りします。

谷藤



YELL's cafe in Thailand



小原



NoMaps2021 に出席



DX 戦略推進部会発の企画
「会員に聞いてみた」

石川



京都大学若手会の代表として

(谷藤公貴 会員・学生会 YELL 運営委員 北大・看護・平 23)
(小原太 会員・学生会 YELL 運営委員 東大・工修・工・平 16)
(石川智史 会員 京大・法・平 14 / 京都大学若手会代表)

会員著作物紹介

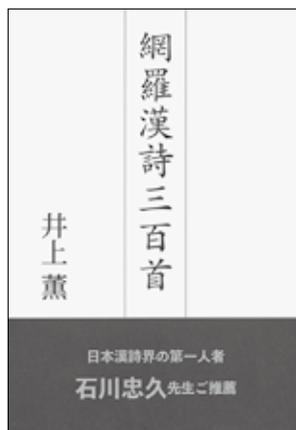
『網羅漢詩三百首』

本書は、著者の自作した漢詩に自ら注釈を付けたものである。538頁に達する。詩題は従来の漢詩の常識を越えて広範囲に及び、その吟味では一般教養を動員する楽しみがある。ギリシャ神話、聖書、歴史、旅情（中南米と北欧が珍しい）、時事問題と法律・裁判関係をカバーする。日本漢詩界の第一人者石川久久氏が推薦する。

著者は、東京大学で化学を研究し、裁判官を経て今弁護士という。新しい知的エンターテインメントの誕生である。

(井上薫 会員 東大・理・昭53)

クリビュア



きんざい

『金融再生請負人』

フィンテックバンカー奮闘記

本書はDX（デジタル化）時代に金融再編を生き抜く地方銀行の若いバンカーたちの奮闘ぶりを描いた、指針的なビジネス書の色彩を帯びた小説です。

厳しい経営環境の中、競合行から統合攻勢をかけられた地方銀行が、AIやフィンテック（ITを活用した金融サービス）を駆使して、経営層と若手行員が一体となって自力再建に取り組む姿を、若い金融マンを主人公として生き生きと活写した現実的で爽快な物語です。

(山本貴之 会員 東大・法・昭和58)

河出書房新社

『[カーボンニュートラル] 水素社会入門』

なぜ、「カーボンニュートラル」なのか。「脱炭素」でいいのではないかと。思い切って、「水素社会」と言ってしまう。こういう内容を本にしました。1973年のオイルショックの翌年、新エネルギー開発のために始まった「サンシャイン計画」が水素エネルギーの原点です。いま、水素社会の定義は多様です。科学技術の準備はできていますが、ビジネスのシナリオが不足気味です。水素社会を再定義して「見える化」しましょう。

(西宮伸幸 会員 東大・理・昭49)



『遺伝子命名物語』

名前に秘められた生物学のドラマ』

私たちの生命を支える多種多様な遺伝子。その一つ一つに名前がついていることをご存知だろうか。数字とアルファベットを組み合わせた実務的な名前もあれば、「ムサシ」、「ファン・ゴッホ」、「マージャン」など、ユーモアあふれる名前もある。遺伝子の名前を入り口に、発見者となった人々のドラマを覗いてみよう。新発見を目指して日夜鏝を削る生命科学の現場の空気と研究者たちの姿を伝えたい。

(石井理美(筆名:坪子理美) 会員 東大・理博・理修・理・平21)



中央公論新社



文芸社

『囲碁こぼれ話』

囲碁の面白さや魅力を伝え、囲碁普及に貢献するため出版。

講評より「全編を貫くのは、囲碁に関する該博な知識とたゆまぬ知的好奇心であり、囲碁の世界の奥深さを垣間見た思いがした。囲碁をよく知る人にも、初心者にも楽しく読めて勉強になる有益な作品といえる。」

目次より「ノーベル賞受賞者と囲碁、理系文系、囲碁の効用、強くなる秘訣、高段者に聞く、囲碁と将棋、囲碁と俳句、囲碁と短歌、囲碁と落語など。」

(編者:木澤廉治 会員 京大・法・昭32)

原書房

『毒が変えた天平時代—藤原氏とかぐや姫の謎』

天平時代とは東大寺の「正倉院御物」からも窺える、奈良時代を代表する華やかな時期であったが、同時に藤原氏の勃興とともに天皇家をまきこんだ権力闘争の時代でもあった。そして、この時期には遣唐使により新しい毒ももたらされた。この本では、これらの「毒」が天平の歴史を変えたと思われる事例について述べ、また、権力闘争の中で構想されたと考えられる『竹取物語』の登場人物のモデルや、物語の作者の推定もしている。

(船山信次 会員 東北大・薬博・薬・昭50)



『NU7』では、原稿を会員の皆様から募集しています。発行部数は5万部以上、会員以外の方にも広く配布しています。たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由、2122ピクセル×2977ピクセル以上のカラー・縦組み写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×左右148mm）。
- ・目次頁に、「氏名・出身大学・学部・卒年」を掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介	著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
会員ギャラリー	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください（最大3点まで）。
会員活動報告	会員同士の交流やイベントの報告内容（800字以内）・写真（1～2点）をお送りください。
会員の声	テーマは自由、1,000字以内（写真掲載希望の場合、写真は1～2点・800字以内）にまとめて、お送りください。

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知	同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）をお送りください。
開催報告	開催された会を報告する内容の文章（200字以内）・写真（1～2点）をお送りください。

投稿にあたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先

koho@gakushikai.or.jp

- ※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
- ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
- ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
- ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。
- ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
- ※会員通信の著作権は、本会に帰属します。
- ※著作物・絵画等は、学士会館への展示も可能です。詳細はお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、ご案内の講演会やイベントを中止、または延期にする場合がございます。最新情報は、学士会公式サイト (<https://www.gakushikai.or.jp/>) をご確認ください。

告知

学士会主催



夕食会・午餐会

(2022年
3月～5月)

[場 所] 学士会館

[参加費] 4,000円(講演のみ2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

3月10日(木) 斎藤 幸平氏 (大阪市立大学大学院経済学研究科准教授)

「人新世の環境危機と21世紀のコミュニズム」

4月8日(金) ピーター・J・マクミラン氏 (翻訳家・詩人)

「万葉集から見た日本の歌の素晴らしさとその全訳」

1979年アイルランド国立大学ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン卒業。1980年アイルランド国立大学大学院で哲学修士号取得。1986年南カロライナ州大学大学院で英文学博士号取得。メリーランド大学講師、杏林大学外国語学部助教授を経て、1995年杏林大学外国語学部教授。現在は、東京大学非常勤講師を務める傍ら、日本と世界をつなぐ架け橋としての活動を精力的に展開。2008年ドナルド・キーン日本文化センター日本文学翻訳特別賞、日本翻訳家協会第44回日本翻訳文化特別賞。

5月は休会です。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

3月22日(火) 岸本 忠三氏 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授
/元大阪大学総長)

「『IL-6物語』一関節炎からコロナへ」

4月20日(水) 宮坂 力氏 (桐蔭横浜大学医工学部特任教授
/東京大学先端科学技術研究センターフェロー)

「ペロブスカイト太陽電池～その特徴と今後の技術革新の可能性」

1976年早稲田大学理工学部卒業。1981年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。1992年富士写真フイルム株式会社足柄研究所主任研究員。2001年桐蔭横浜大学大学院工学研究科教授。2017年より現職。2020年早稲田大学大学院先進理工学研究科客員教授。2009年GSC (Green sustainable chemistry) 文部科学大臣賞。2017年日本化学会賞、クラリベイト・アナリティクス (旧トムソン・ロイター) 引用栄誉賞。2019年応用物理学会業績賞。2021年英国・ランク賞など受賞歴多数。

5月20日(金) 平田 雅之氏 (大阪大学大学院医学系研究科特任教授)

「脳で直接、機器操作：

ブレイン・マシン・インターフェースの最新動向と今後の展望」

1985年東京大学工学部卒業。1987年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。自動車会社に入社し、シャシー開発に従事。1994年大阪大学医学部卒業。2001年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。大阪大学大学院医学系研究科助教、特任准教授を経て、2016年大阪大学国際医工情報センター教授。2019年より現職。脳磁図を用いて脳律動の観点から脳の機能メカニズムを解明し、検査に応用するとともに、さらに発展的に工学的手法を用いて脳の機能を再建するブレイン・マシン・インターフェースの研究開発に取り組む。2013年、2014年大阪大学総長顕彰。2020年 U.S. National Academy of Medicine, Healthy Longevity Global Competition, International Catalyst Award。

詳細は、右記 QR コードまたは事業課まで。

TEL:03-3292-5955 MAIL:koenkai-info@gakushikai.or.jp



告知



『學士會会報』953号(2022年3月発行)のご案内

※編集の都合により、内容が変更になる場合があります。

2022年3月1日発行の『學士會会報』953号は、下記の内容を掲載しています。

■講演録■

「見ることの常識が通じない錯視研究の最前線」(10月午餐会)

杉原 厚吉氏 (明治大学研究・知財戦略機構)

先端数理科学インスティテュート研究特別教授)

「日本外交の課題」(11月午餐会)

谷内 正太郎氏 (初代国家安全保障局長/元外務事務次官)

その他の内容につきましては、右記 QR コードからご覧ください。



告知

学生会主催



第46回関西茶話会

14:30~講演会・質疑応答

[場所] 京都大学楽友会館

[参加費] 2,000円

2022年4月16日(土) 平川 佳世氏 (京都大学大学院文学研究科教授)

「素材からみたルネサンス美術—銅板の上に描かれた油絵を中心に」

1991年京都大学文学部史学科(考古学専攻)卒業。2000年同大学院博士後期課程研究指導認定退学。文学博士(京都大学)。近畿大学文芸学部講師、助教授、准教授を経て、2009年京都大学文学研究科准教授。2017年より現職。専門は北方ルネサンス絵画史。

詳細は、右記 QR コードまたは関西事務所まで。

TEL:075-771-1191 (火水木金 10:00~16:00)

MAIL:kansai-info@gakushikai.or.jp

※学生会公式サイトは申込開始日(開催日3週間前)より詳細を掲載いたします。



告知 学士会主催



若手茶話会 (ドカフェ・読書会・ミニプレゼン会)

[形態] オンライン予定

[参加費] 無料

2022年3月26日(土)・4月24日(日)・5月28日(土)

参加者を45歳以下の若手会員に限定した少人数制の“カタリバ”として「ドカフェ」「読書会」「ランチ会」などの交流会や、同世代のメンバーがプレゼンターとして知識を披露する“マナビバ”として「ミニプレゼン会」を開催しています。



詳細は、右記QRコードまたは会員支援課まで。

TEL:03-3292-5932

MAIL:contact@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催会員交流支援



Zoom イベント (初心者体験会 他)

[形態] オンライン

[参加費] 無料

随時開催中 (頻度: 月1~2回程度)

Webの画像通信で交流をしたい、ご自身でWeb画像通信システムを使用し仲間と繋がりたい。そんな思いを「Zoom」を使用して実現しませんか?

「初心者体験会」「ホスト機能説明会」「Web交流会」など、目的にあわせてご参加いただけます。Web交流のきっかけづくりとして、ご活用ください。



詳細は、会員支援課まで。※開催日程はメールにてご案内しています。

TEL:03-3292-5932 MAIL:contact@gakushikai.or.jp

報告 学士会主催



「新年祝賀会2022」開催報告

[場所] 学士会館

2022年1月5日(水) 12:30~14:45

佐々木毅理事長による新年挨拶、「学士会村雨会」世話人代表の米澤賢一会員による謡曲「窓」に引き続いて行われた催しは、昨年5月に東大卒業生初の真打に昇進した落語家の春風亭昇吉氏による、「落語家というその知られざる世界」と題した講演(落語ではなく)。氏の流石の話術で、初笑いどころか、少なくともひと月分は笑ってしまったであろう参加者続出となりました。



学会主催講演会の動画を配信中です



学会会員交流サロン「謝恩の情」にて、学会が主催した講演会の動画(主に夕食会・午餐会)を配信中です。動画は、右記のQRコードからご覧ください。



※正会員、学生会員限定のサービスです。

※正会員の方のログインID・パスワードは、どちらも会員番号9桁の数字です。

※「Web名簿閲覧システム」のユーザーID・パスワードとは異なります。

『学会会報』デジタルアーカイブ公開中です



学会会員交流サロン「謝恩の情」にて、952号(令和4年1月発行号)までの『学会会報』デジタルアーカイブを公開中です。最新発行号の1号前まで、常に公開しています。デジタルアーカイブは、右記のQRコードからご覧ください。



※正会員の方のログインID・パスワードは、どちらも会員番号9桁の数字です。

※「Web名簿閲覧システム」のユーザーID・パスワードとは異なります。

会員作品(絵画・写真等)展示のご案内



学会館1階七大学展示コーナー「学会ブース」にて、会員作品を展示しています。皆様ご自慢の作品を、学会館に展示しませんか？



詳細は、右記QRコードまたは学会広報渉外課まで。

TEL:03-3292-5950 MAIL:koho@gakushikai.or.jp

※展示する作品は、本誌「会員ギャラリー」への掲載も可能です。「会員ギャラリー」へのご投稿については、本誌29頁をご参照ください。

学会館主催 食と酒シリーズ第22回



「世界遺産“和食”と 日本酒のペアリングを楽しむ会」

【場 所】学会館
「旬菜寿司割烹 二色」

2021年12月10日(金)・11日(土) 18:00～20:00



今回ペアリングしたのは、北海道上川郡上川町で2017年に誕生した「上川大雪」。少量生産で希少な日本酒を、北海道産の貴重な食材を使用した特製料理と共に楽しみました。本イベントは、北海道庁にご後援いただきました。

学士会の活動・サービス一覧

七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大学戦）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学とのイベント共催 ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

七大学関連団体との連携

- ・全学同窓会とのイベント共催及びお互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」「七大学OBサッカー大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会会合への支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語、探訪、謡曲）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『NU7』『会員氏名録』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行/読者プレゼントあり）
- ・学生会員交流サロン「謝恩の情」の利用（会報デジタルアーカイブ・NU7+の閲覧）
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供及びプログラム提供や見学などの特典）
- ・引っ越しや葬祭時の割引特典（アート引越センター・サカイ引越センター/セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナソニックホームズ・住友林業）
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共済事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・ホームセキュリティ（セコム）の割引利用
- ・国内唯一の雑誌専門図書館「大宅壮一文庫」入館料無料

学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金(5万円)贈呈 ・「良縁倶楽部」への入会・活用
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン(金の食器使用)利用の会員グループに食事券(5,000円)贈呈
- ・レストランでのランチ(平日13時以降来店に限る・セブンスハウス除く)・ディナー・飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引(終身会員本人は、ランチ全時間帯10%割引) ※入店時に会員証を提示

学会会員証をご活用ください

3月1日発行の『学会会報』953号・『NU7』No.40に同封して、2022年度(令和4年度)版の学会会員証をお送りしています(終身会員の方は除く)。

学会会員証をご提示いただくと利用できるサービスをご紹介します。学会会員証をぜひご活用ください。

(普通会員向け会員証)

※毎年度、3月号と同封してお送りします。



(終身会員向け会員証)



学会会員証提示で利用できるサービス



**学会館レストランでのランチ・ディナー飲食、
同伴者を含め10名まで10%割引**

※ランチは平日13時以降の来店に限り、セブンスハウスは除く。入店時に提示。



**「しがくのやど」(日本私立学校振興・共済事業団運営
の会館・宿泊施設)の割引利用**



「東京国立近代美術館」の割引利用



**「大宅壮一文庫」(国内唯一の雑誌専門図書館。80万冊所蔵)
の入館料が無料**



(終身会員のみ)

夕食会・午餐会食事時、ソフトドリンク一杯無料

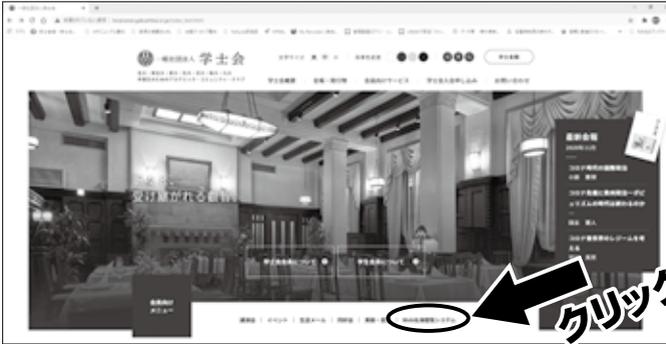
学士会 Web名簿閲覧システムのご利用の手引き

学士会

検索

<https://www.gakushikai.or.jp/>から『Web名簿閲覧システム』に移動して、配布済みのユーザーID/パスワードでログインしてください。

① 会員向けメニュー「Web名簿閲覧システム」をクリック



② 「ユーザーID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、ユーザーID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で即時に再発行を受けることができます。

- ✓ セキュリティはシステム管理者にて十分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

③ Web名簿閲覧システムには主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更(プロフィール確認・変更)
- ✓ 学士会会員の検索・閲覧(Web版氏名録)
学士会会員の情報のうち、開示可とされたものを検索・閲覧することができます。

④ プロフィール確認と変更



(編集画面)

- 左メニュー「プロフィール確認・変更」からご自身のご登録状況を確認できます。
- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度開示して良いか、ご自分で設定してください。「開示」「非開示」の設定ができます。

⑤ Web版氏名録の閲覧

左メニュー「会員検索」より、卒業大学・卒業・修了年、氏名、住所、勤務先等を検索し、本人が開示を許可した情報を閲覧できます。



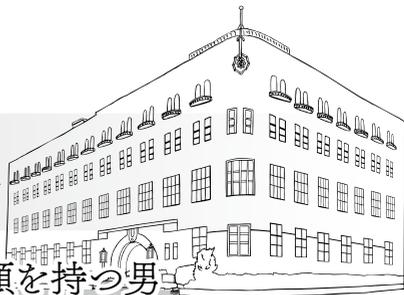
スマートフォンからも
ご利用いただけます。



<https://member.gakushikai.or.jp/e-gakushikai/>

ユーザーID／パスワードが不明な方は、会員企画課(member@gakushikai.or.jp)まで、お問い合わせください。

Discover Gakushikaikan



Discovery 2 ...

二つの顔を持つ男

いわさわたる

～メートルドテル 岩佐 和 氏にインタビューをして～

Latin の奥にある個室の扉を開けると、そこにはサービスをしている時とは全く別の雰囲気のある岩佐氏がありました。レストランで見ると同じ外見なのに何かが違っていました。その違いが男の色気であることに気づくのにそう時間はかかりませんでした。

一つ目の顔、それは大人の男岩佐 和 氏です。国内外での豊富な経験と洗練されたサービス力に裏付けられた自信が、彼から落ち着いた色気のある雰囲気を感じさせるのでしょう。また、さりげないオシャレの中にゲストへの思いを込めていることにも魅了されました。まるで白い花を挿しているかのように見えるポケットチーフ、これは華やかにおもてなしをしたいという思いを表しているそうです。博多出身でサッカーやスキーにも情熱を注ぐ彼は、「和」のころを特に重んじています。そして、それは Latin のメニュー開発にも色濃く反映されており、彼のこだわりを感じることが出来ます。ところで、学士会館のフランス料理レストラン Latin では日本最高峰のサービスを味わうことができるのを知っているでしょうか。

もう一つの顔、それはメートルドテル岩佐和氏です。2019年11月に開催された APGF（フランスレストラン文化振興協会）主催のレストランサービスコンクール、第18回メートル・ド・セルヴィス杯で岩佐氏は準優勝されました。Latin で彼のサービスを受けたことがあります。最も印象に残っていることは、彼の「存在」です。料理や会話を楽しんでいる時には彼の存在は全く感じません。しかし、声をかけたいと



思う時にはなぜか彼は必ず近くにいるのです。ゲストにとってだけではなく、職場でも彼が頼れる人物であることは容易に想像がつきます。スタッフ一人一人を大切にしている岩佐氏ですが、Latin シェフの富塚祐吉氏に特に注目しているそうです。料理人への尊敬の念を常に持ち、ゲスト

Restaurant Latin

Lunch 11:30~15:00 (L.O. 14:00)

Dinner 平日 17:30~22:00 (L.O. 21:00)

土日祝 17:30~21:00 (L.O. 20:00)

※新型コロナウイルス感染状況により、営業時間は変更になる場合がございます。

ご予約・お問い合わせ (月曜定休) TEL : 03-3292-0881

へ最高の料理とサービスを提供したいという思いが伝わってきました。月替わりで色々なものを詰め込んでいる Latin の料理を沢山のの人に食べに来て欲しい。そう読者への伝言を預かりました。

学会館にお越しの際は、是非、Latin の料理と岩佐和氏という人物を堪能してみたいかがでしょうか。2時間のインタビューの最後に、コンクールで受賞された銀メダルを見せてくれました。ずっしりと重く、とても輝いていました。

学会館代議員 谷藤公貴 (北大・看護・平23)

▶▶▶ 会館エピソード大募集 ◀◀◀

読者の皆様からも学会館にまつわるエピソードを募集いたします。

- 学会館での思い出
- 学会館のここが好き
- 学会館の楽しみ方

など、学会館に関することなら何でも OK です。当企画で取り上げて欲しい場所やスタッフなどのご要望や、我こそは“愛館者”として登場したいというご希望も受付中です。一緒に当企画を盛り上げてくださると大変有難いです。

募集概要

氏名(会員の方は会員番号または出身大学・卒年・学部)を明記の上、1,000字以内にまとめて、学会館広報渉外課までお送りください。

投稿先 : koho@gakushikai.or.jp

※投稿にあたっての注意事項は 29 頁を必ずご参照ください。



七大学生協 書籍ランキング BEST 5

期間：2022年1月1日～2022年1月31日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ジョン・ロールズ 社会正義の探究者	齋藤純一／田中将人	中央公論新社
	2 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	3 北条義時 鎌倉殿を補佐した二代目執権	田中慎平	中央公論新社
	4 憲法政治 —「護憲か改憲か」を超えて	清水真人	筑摩書房
	5 赤い蠟人形	山田風太郎	河出書房新社
一般書	1 人間晩年図巻 2008—11年3月11日	関川夏央	岩波書店
	2 物価とは何か	渡辺努	講談社
	3 人間晩年図巻 2000—03年	関川夏央	岩波書店
	4 東京オリンピック始末記	小笠原博毅、山本敦久	岩波書店
	5 「感動ポルノ」と向き合う 障害者像にひそむ差別と排除	好井裕明	岩波書店

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ジンメル宗教論集	ゲオルク・ジンメル	岩波書店
	2 韓国愛憎 激変する隣国と私の30年	木村幹	中央公論新社
	3 モチベーションの心理学 「やる気」と「意欲」のメカニズム	鹿毛雅治	中央公論新社
	4 精神と自然 生きた世界の認識論	グレゴリー・ベイトソン	岩波書店
	5 陶淵明全詩文集	陶淵明	筑摩書房
一般書	1 政治的リベラリズム 増補版	ジョン・ロールズ	筑摩書房
	2 権力にゆがむ専門知 専門家はどうか統制されてきたのか	新藤宗幸	朝日新聞出版
	3 租税法	金子宏	弘文堂
	4 食の歴史学—和食文化の展開と特質—	原田信男	青土社
	5 論点・東洋史学 アジア・アフリカへの問い 158	吉澤誠一郎 (監修)	ミネルヴァ書房

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	2 ジョン・ロールズ 社会正義の探究者	齋藤純一／田中将人	中央公論新社
	3 縄文 vs. 弥生—先史時代を九つの視点で比較する	設楽博己	筑摩書房
	4 民主主義とは何か	宇野重規	講談社
	5 愛について アイデンティティと欲望の政治学	竹村和子	岩波書店
一般書	1 深層学習	岡谷貴之	講談社
	2 Stataによるデータ分析入門—経済分析の基礎からパネル・データ分析まで—	松浦寿幸	東京図書
	3 シリーズ・ソーシャルサイエンス 社会学	筒井淳也	岩波書店
	4 東大式 生命データサイエンス即戦力講座	DSTEP 教材作成委員会 (編)	羊土社
	5 エビデンスの社会学—証言の消滅と心理の現在—	松村一志	青土社

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ワインバーグ量子力学講義 上	スティーヴン・ワインバーグ	筑摩書房
	2 ワインバーグ量子力学講義 下	スティーヴン・ワインバーグ	筑摩書房
	3 愛なき世界 上	三浦しをん	中央公論新社
	4 愛なき世界 下	三浦しをん	中央公論新社
	5 科学と仮説	アンリ・ポアンカレ	筑摩書房
一般書	1 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 8	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 深層学習	岡谷貴之	講談社
	3 解析力学講義—古典力学を超えて—	近藤慶一	共立出版
	4 問題解決のための「アルゴリズム×数学」が基礎からしっかり身につく本	米田優峻	技術評論社
	5 一歩進んだ理解を目指す 物性物理学講義	加藤岳生	サイエンス社

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	2 歴史修正主義 ヒトラー賛美、ホロコースト否定論から法規制まで	武井彩佳	中央公論新社
	3 人新世の「資本論」	齋藤幸平	集英社
	4 知ってるつもり	スティーブンス・スローマン、フィリップ・フアンパンク	早川書房
	5 ジョン・ロールズ 社会正義の探究者	齋藤純一／田中将人	中央公論新社
一般書	1 岩波講座 世界歴史 第6巻 中華世界の再編とユーラシア東部 4~8世紀	荒川正晴 (編)	岩波書店
	2 深層学習	岡谷貴之	講談社
	3 黒字城	米澤穂信	KADOKAWA
	4 政治的リベラリズム 増補版	ジョン・ロールズ	筑摩書房
	5 問題解決のための「アルゴリズム×数学」が基礎からしっかり身につく本	米田優峻	技術評論社

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 韓国愛憎 激変する隣国と私の30年	木村幹	中央公論新社
	2 憲法政治 —「護憲か改憲か」を超えて	清水真人	筑摩書房
	3 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	グレイディみかこ	新潮社
	4 精神と自然 生きた世界の認識論	グレゴリー・ベイトソン	岩波書店
	5 保健所の「コロナ戦記」 TOKYO 2020-2021	関なおみ	光文社
一般書	1 量子電磁力学を学ぶための電磁気学入門	高橋康	講談社
	2 深層学習	岡谷貴之	講談社
	3 データの法律と契約	福岡真之介・松村英寿	商事法務
	4 秘闘—私の「コロナ戦争」全記録—	岡田晴恵	新潮社
	5 著作権法	茶園成樹	有斐閣

九州大学生協中央図書館店+皎皎舎店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ワインバーグ量子力学講義 上	スティーヴン・ワインバーグ	筑摩書房
	2 ワインバーグ量子力学講義 下	スティーヴン・ワインバーグ	筑摩書房
	3 古代中国の24時間 秦漢時代の衣食住から性愛まで	柿沼陽平	中央公論新社
	4 科学と仮説	アンリ・ポアンカレ	筑摩書房
	5 韓国愛憎 激変する隣国と私の30年	木村幹	中央公論新社
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 8	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
	3 一歩進んだ理解を目指す 物性物理学講義	加藤岳生	サイエンス社
	4 教育・心理系研究のためのRによるデータ分析	平井明代	東京図書
	5 経済の起原	大澤真幸	岩波書店

昨年コロナの感染が一時的に沈静化した時期に、一月中旬に新幹線で北海道に帰省し、帰りは山形の赤湯温泉に泊まる予定を立てた。ところが、出発日の前日、東京の新規感染者数は四千人を超え、北海道は大雪でJRが止まった。予定はすべてキャンセルした。出発予定だった日、ポイント故障で東北新幹線は運休し、山形新幹線も雪で運休となった。さらに、トンガで海底火山が噴火し、日本でも津波警報が発令された。二日遅れで東京を発った。帰京の日、順調に福島に到着し、山形新幹線に乗り換えた。布団のように雪を被った山の中を走り、時々視界は雪で真っ白になった。が、定刻に到着。これで普通に走るのなら運休する時の雪はどんなだろうと思いつつ、赤湯温泉に向かった。タクシーの運転手さんに、「赤湯温泉のお湯って赤いんですね」と聞いたところ、「赤くはないですよ」との答え。確認せずに来た私が悪かった。今年はなんだか波乱含みの年になりそうだ。

(編集委員：佐藤千恵子)

先日、東北大の大野総長と全学同窓会の校友会関東支部とのZoom会議があった。総長から東北大ビジョン2030構想が発表された。まさに最先端研究の創出と大変革への挑戦であり、世界30傑大学としての総合研究をめざすという。さらに新たな学問領域の開拓でイノベーションを創出し産学共創を目指すとする。コロナ禍でとかく閉鎖的な世相にあつて、この前向きで壮大な構想に胸が膨らむ想いがした。特に素晴らしいのは次世代放射光施設とサイエンスパークの研究拠点の開発構想である。次世代放射光施設は2023年に運用開始予定で60ペタバイト級のデータストアがある。未踏スケールデータ分析センターは1月に新設されている。STNETや民間ネットを介して全国へサービスを提供する。放射光施設は量子科学技術研究開発機構OSTが主体となり、パートナーとして東北経済連合会も入っている。まさに近未来の科学技術と産業の創成をめざす世界最高峰のサイエンスパークだ。

また学士会の活動と関連して、更なる国際連携強化を図りたい。東北大同窓会は米国とアジアに8つあるという。学士会の七大学のそれぞれの世界に散在するこれらの同窓会とも強力な連携を進めたい。

(編集委員：田村恵美子)

先日、徳島県神山町に伺い、サテライトオフィスや神山まるごと高専などの取り組みについて色々お話を伺う機会を得た。徳島県出身者だが恥ずかしながらこの辺りについては世間一般の方以上には知らず、ただ「凄いことをやってるんだなあ」くらいの認識。実際、取り組みについて歴史から教えて頂き、一朝一夕ではなく、いろんな人との繋がりが偶然のように見えて必然かのように繋がり合い、現在の奇跡のような状況になっていることが分かり、非常に感銘を受けた。日本のシリコンバレーを目指す、という大言壮語に聞こえるかも知れないが、スモールな規模で、という前提が付けばあながち大きく外れもしない話かも知れないと思った。このような取り組みが世界各地で広まると、一極集中ではない良さが生み出されるのではないかと感じた。(編集委員：吉積礼敏)

NU7 第40号

2022年 3月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL：03-3292-5950

FAX：03-3292-2779

HP：https://www.gakushikai.or.jp/

MAIL：koho@gakushikai.or.jp

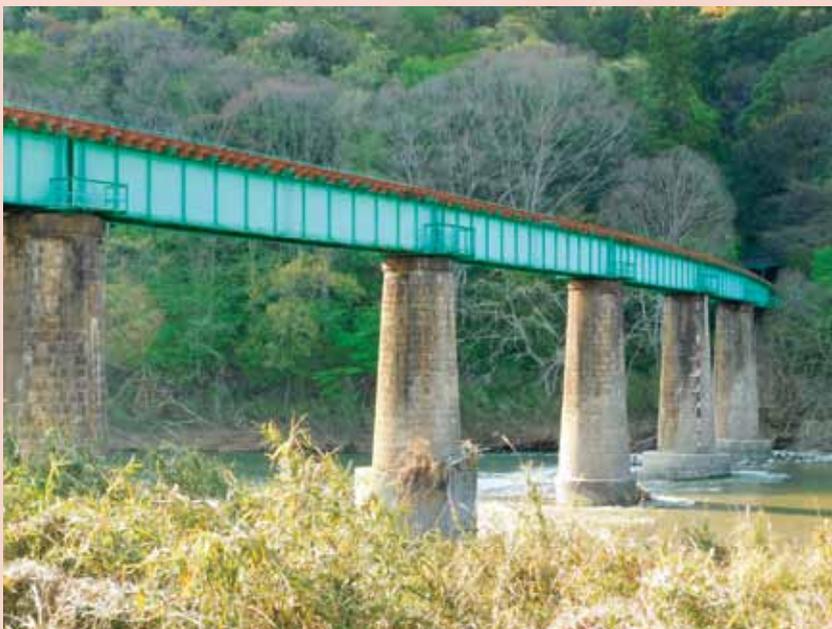
印刷所

大日本法令印刷株式会社

会員ギャラリー



弘道館の桜



森の鉄道（茨城県大子町）

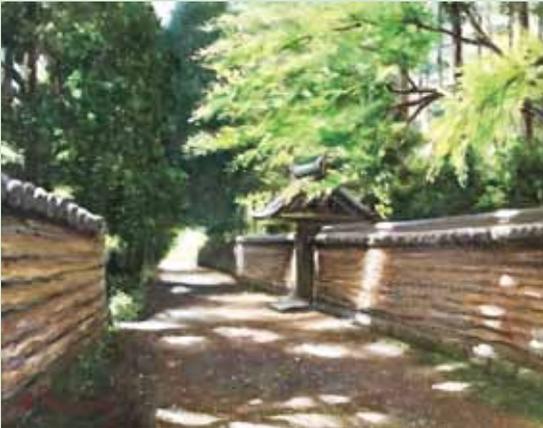
西村公宏 会員（東北大・工博・平18）



春爛漫
東大寺（油彩画）



レンゲの咲く頃（油彩画）



木漏れ日
唐招提寺（油彩画）

2021年春 京都の桜とミツバツツジ



哲学の道 後景 大文字山



哲学の道 白川の花筏



仁和寺 御室桜



嵐山渡月橋



仁和寺 ミツバツツジ

学士会の紹介

学士会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。130年以上の歴史を持つ学士会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。

※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費 4,000 円

※学士会事業年度は4月1日～翌3月31日。

※新卒限定の会費優待制度や会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

学士会会員募集中！

今春卒業・修了される方に入会をお勧めください。

主な会員サービス

最新情報をお届けする学士会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



『學士會会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続けている『學士會会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

953号は、昨年11月午餐会の講演録（谷内正太郎氏「日本外交の課題」）を掲載しています。



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

3月の夕食会は、斎藤幸平氏（大阪市立大学大学院経済学研究科准教授）にご講演いただきます。（演題「人新世の環境危機と21世紀のコミュニズム」）。



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブ、「しがくのやど」（日本私立学校振興・共済事業団運営、会館・宿泊施設）などの割引サービス等を行っています。

スポーツクラブ「ルネサンス」には、通常会員の他、オンライン会員特典もございます。どうぞご利用ください。



「学士会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学士会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

学士会館・良縁倶楽部は、学士会正会員・準会員や、その家族の“良縁”をサポートしています。

入会をご希望の方は、**学士会公式サイト**からお手続きください。

<https://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学士会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで /03-3292-5933